

## 2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復師学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	外傷保存療法の経過及び治療の判定		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	第2校舎202
担 当 教 員	澤 卓実	実務経験と その関連資格	専科教員(平成22年～現在に至る)、認定実技審査員(平成29年:整復実技) 講道館柔道初段(平成29年)、附属接骨院(平成19年～平成26年:整骨院業務)			
《授業科目における学習内容》						
問診、視診、触診、計測、機能検査などの臨床的判定に必要な知識と技能を交えながら、保存療法の経過を各部位ごとに治療の判定を解説していきます。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験 100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復学・理論編第6版および柔道整復学・実技編第2版						
《授業外における学習方法》						
配布資料の確認を行い、不明な点は必ず質問にくること。						
《履修に当たっての留意点》						
骨折や脱臼は業務範囲内であり、明確な評価が必要になります。柔道整復師として必要な知識はこの講義のみならず、3年間を通じて身に付けて頂ければと思います。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	骨折・脱臼・軟部組織損傷の概説		柔道整復学・理論編第6版および柔道整復学・実技編第2版 配布資料	配布資料の確認をしておくこと	
	各コマにおける授業予定	プロローグ				
第2回	授業を通じての到達目標	骨折の保存療法の経過および治療の判定を理解する		柔道整復学・理論編第6版および柔道整復学・実技編第2版 配布資料	配布資料の確認をしておくこと	
	各コマにおける授業予定	骨折の保存療法の経過および治療の判定-1				
第3回	授業を通じての到達目標	骨折の保存療法の経過および治療の判定を理解する		柔道整復学・理論編第6版および柔道整復学・実技編第2版 配布資料	配布資料の確認をしておくこと	
	各コマにおける授業予定	骨折の保存療法の経過および治療の判定-2				
第4回	授業を通じての到達目標	脱臼の保存療法の経過および治療の判定を理解する		柔道整復学・理論編第6版および柔道整復学・実技編第2版 配布資料	配布資料の確認をしておくこと	
	各コマにおける授業予定	脱臼の保存療法の経過および治療の判定-1				
第5回	授業を通じての到達目標	脱臼の保存療法の経過および治療の判定を理解する		柔道整復学・理論編第6版および柔道整復学・実技編第2版 配布資料	配布資料の確認をしておくこと	
	各コマにおける授業予定	脱臼の保存療法の経過および治療の判定-2				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	軟部組織の保存療法の経過および治療の判定を理解する	柔道整復学・理論編第6版および 柔道整復学・実技編第2版 配布資料	配布資料の確認をしておくこと
		各コマにおける授業予定	軟部組織の保存療法の経過および治療の判定-1		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	軟部組織の保存療法の経過および治療の判定を理解する	柔道整復学・理論編第6版および 柔道整復学・実技編第2版 配布資料	配布資料の確認をしておくこと
		各コマにおける授業予定	軟部組織の保存療法の経過および治療の判定-2		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	各組織における保存療法の経過および治療の判定を理解する	柔道整復学・理論編第6版および 柔道整復学・実技編第2版 配布資料	配布資料の確認をしておくこと
		各コマにおける授業予定	骨折・脱臼・軟部組織の保存療法の経過および治療の判定まとめ		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			